

# みんなを支える

## 認知症を知ろう、考えよう

監修：医療法人社団翠会 和光病院  
いまい ゆきみち  
 院長 今井 幸充

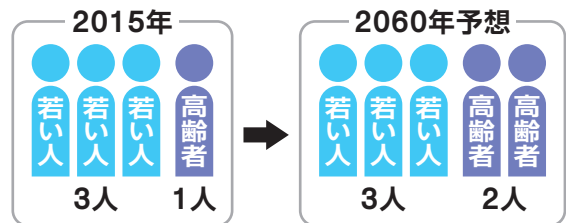
### 「超高齢社会」を迎えた日本

世界有数の長寿国である日本では、総人口が減少し、少子化が進むなか、高齢者人口は増え続けています。世界保健機関(WHO)や国際連合(国連)では、高齢化率(総人口における65歳以上の高齢者の割合)が14%を超えた社会を「高齢社会」、21%を超えた社会を「超高齢社会」としています。

日本の高齢化率はすでに25%を超え、超高齢社会を迎えています。2015年には4人に1人が高齢者でしたが、2060年には2.5人に1人(39.9%)が高齢者になると予想されています。

人は誰でも年をとることで高齢者になります。年齢を重ねてさまざまな経験を積み、社会への貢献ができることはすばらしいことです。ただ、高齢になると、健康に関する不安が若い人たちより大きくなります。その不安の1つに、「認知症」という病気の症状があります。

認知症の人の数は今後も増え続け、2025年には日本の高齢者の5人に1人になることが予想されています。



### わたしの地域の認知症高齢者数

- 日本の人口：  人  年現在
- 日本の高齢者数：  人
- 日本の認知症高齢者数：  人
- わたしの住んでいる地域の人口：  人
- わたしの住んでいる地域の高齢者数：  人
- わたしの住んでいる地域の認知症高齢者数：  人

# 認知症の基礎知識

認知症は、脳の病気が原因で、もの忘れがひどくなったり、今まで簡単にできていたことができなくなったりする症状や状態のことです。

## 加齢による「もの忘れ」との違い

年をとると、もの覚えが悪くなったり、人の名前が思い出せなくなったりしますが、認知症はこのような「もの忘れ」とはちがいます。

年をとることによる「もの忘れ」は、できごとの一部を忘れても、ヒントがあれば思い出せることが多く、また、料理などのものごとの手順は覚えているので、「もの忘れ」のせいで日常生活がうまくいかなくなるということはほとんどありません。

しかし、認知症による「もの忘れ」は、できごとのすべてをすぐに忘れてしまい、ヒントがあっても思い出せず、また料理などのものごとの手順も忘れてしまい、その結果、日常生活がうまくいかなくなったりします。さらに、今まで簡単にできていたことができなくなってしまうことから、それまで好きだったことに興味をもたなくなったりするように見えるなど、性格が変わったように見えることもあります。

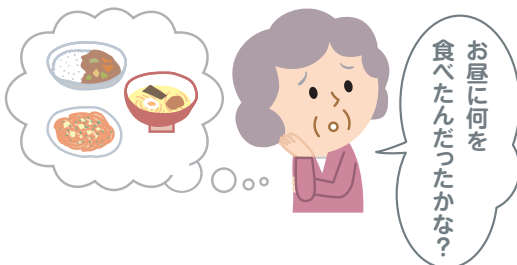
下の表に、具体的な違いを示します。

### 加齢によるもの忘れと認知症の違い

	加齢によるもの忘れ	認知症
原因	脳の生理的な老化	脳の神経細胞の変性や脱落
もの忘れ	体験したことの一部分を忘れる (ヒントがあれば思い出す)	体験したことをまるごと忘れる (ヒントがあっても思い出せない)
症状の進行	あまり進行しない	だんだん進行する
判断力	低下しない	低下する
自覚	忘れっぽいことを自覚している	忘れたことの自覚がない
日常生活	支障はない	支障をきたす

出典：相談e-65.net「認知症の基礎知識」(一部改変)

### 加齢による「もの忘れ」



### 認知症による「もの忘れ」

